

## 平成28年度 長良川河口堰県民調査団の意見

## ● 長良川河口堰（アクアプラザ長良を含む）

## 【治水・利水について】

- No. 1-1 車で近くを通ったことはあるけど、近くで車から降りて河口堰を見学したのは初めてでした。昔学校の授業で海水遡上について学び、治水、利水それぞれの役割を果たしていることを再確認する事ができました。また、上流側に海水が混ざらないように考えられているゲートの仕組みに驚きました。通るたびに気になっていた球体の建物の理由が風力の計算などをして作っているのかと思っていましたが、しずくをモチーフにしているというシンプルな答えでびっくりしました。
- No. 1-2 長良川河口堰は、しゅんせつと塩害防止に著しく寄与し、又、河口堰により知多半島や津市への水供給の開始が行われており、河口堰は未来を見据えた重要な施設であると考えます。
- No. 1-3 所長の説明が分かりやすくとても有意義でした。治水と利水の目的も理解できましたが、利水目的のウェイトが高く感じたので、犠牲にする環境とコストとのバランスに少し疑問が残りました。事業費や負担者の割合、管理費などコストの話も聞きたかったです。鮎への配慮には熱意を感じましたが、多様性についても聞きたかったです。
- No. 1-4 治水、利水両効果は絶大である事が良く理解できた。堰のおかげで流域地区の農業はじめ産業の発展と安全な暮らしが守られている。知多4市5町に安定した送水が出来るようになったことは、知多地域だけでなく愛知用水区域は過去の度々の節水もなくなり、上水道、農業用水も安定確保がされるようになってきていることを、もっとアピールするべきと思う。
- No. 1-5 初めて参加させていただいたが、あくまで治水対策として行ったのは河道掘削であり、それにより塩害等の被害が発生しないように河口堰が建設されたのだということが良く分かった。また、塩分濃度の測定を行い、実際に堰が有効に機能しているか確認しているとか理解できた。
- No. 1-6  
(学) 実際に長良川河口堰を見学できて貴重な体験ができて良かった。ゲートが上がる瞬間も見ることができて良かった。この長良川河口堰によって治水と利水が調整されていることを知ることができた。また、魚道や資料館も見学できて、講義も受けられてすごくためになった。
- No. 1-7  
(学) 治水や利水効果があるので安全で安心な生活ができていることが分かりました。魚や貝などが生息できるように環境にも効果があることが分かりました。今までは何をしている建物か分からなかったけど、今日の説明を聞き実際に見学をしたから何をしているところなのかが分かったので、いい見学だったと思います。

## 【環境について】

- No. 2-1 底質の状況について、試験的に底部に重しをつけて、淀みやすい地に簡単な水車を置いてみるのはいかがでしょうか？
- No. 2-2 魚道に感動した。すごく優しいと思った。人間の勝手にいろんなものを作るけど、魚のために生活しやすい環境を作っているのだから、魚が減っていくことを防げるからいいなと思った。いろんな災害の被害を少なくするために、すごく便利なものだということが分かった。
- No. 2-3 海水と淡水の境で、川、海のそれぞれの生態系、環境を守る為や津波などの災害から町を守るという点からも非常に重要に思った。

## 【施設について】

- No. 3-1 堰はオーバーフロー、アンダーフローを使って海水が淡水に混じらないように操作している。もしも塩水が侵入したらどうするのか？
- No. 3-2 間近でゲートが開く所を運よく見れて良かった。あんなにも太いゲートで海水と淡を分けていることが知れて良かった。また、津波の高さによってゲートを開くか開かないを決めることには驚いた。アユに対しての配慮も考えられていたのですねと思いました。
- No. 3-3 ゲートの仕組みがとても面白く、長良川河口堰について、とても興味を持つことができた。淡水と海水を混ぜないようにする技術には感動した。
- No. 3-4 長良川河口堰は、初めは長良川から海に流れ込む水を調節するだけのものと思っていたけど、話を聴いていると、川の端にある魚道や洪水、津波時の対応、時旬に合ったゲートの開閉などちゃんとした理由があって、長良川河口堰は毎日動いているということが分かった。
- No. 3-5 ゲートが意外と厚いことに驚きました。また、ゲートが開くところが見れたので良かったです。河口堰は身近にはないものだったので、とても勉強になりました。上流、下流の水位や流量等で調節を行っていること、ゲート下から流すこともあることは初めて知りました。
- No. 3-6 思ったより大きかった。そもそも河口堰というものがどういうものか分からなかったが、ダムのない長良川の治水工事において潮の流れを止めるという重要な役割を果たしていることが分かった。説明の途中でアユの漁獲量について「メディアでは長良川河口堰のせいで鮎が獲れにくくなったと説明されているが、実際はそうではない。」とあったように、まだまだ正しい認識が世間に広まっていないと思うので、もっと広めて欲しい。
- No. 3-7 初めてゲートを見て、とてもぶ厚く、波などを防ぐにはこれぐらいの厚みがないと砕けてしまう水害は恐ろしいと感じました。

- No. 3-8  
(学) いろんな状況に応じて門を調整していたりとすごかった。魚道では魚が見やすく面白かった。実際にわたって見るとけっこうな大きさと高さがありすごかった。淡水と海水を混ぜないようにする工夫はすごいと思った。
- No. 3-9  
(学) 普段入れない河口堰内を見学できたのが良かった。堰の役割を知らなかったのが非常に勉強になった。普段はマスコミの批判を通す形でしか河口堰について聞くことが出来なかったが、実際に知ることが出来たのは非常に良いことだと思う。
- No. 3-10  
(学) 治水、利水、環境を考慮した本当にすごい建物だと思いました。ゲートを上手に開閉して塩害や、洪水による被害を防いだり、様々な川の生物と共存できたりする、という点が本当に面白いと思いました。
- No. 3-11  
(学) 長良川河口堰は初めて行ったので、ゲートがあることは初めて知りました。ゲートは平常時と洪水時、高潮時、津波時と時によって操作が違い、被害を最小限にしていることが分かりました。ゲートを全開にするには40分くらいかかるということには驚きました。ゲートが動いているところを実際に見てみたかったと思いました。魚は映像で卵の所を見ることができて分かりやすかったです。
- No. 3-12  
(学) 洪水や高潮、津波に合わせて、ゲートを操作しうまくコントロールしていることを知り、とてもおどろいた。また、稚鮎の遡上の話を聞き、環境面にもとても配慮していることが分かった。実際に見に行くと、小さな鮎がたくさん泳いでいて、水がきれいであるのが実感できた。
- No. 3-13  
(学) 普段見られない、河口堰の開閉を見ることができたり、堰の役目をあまり知らなかった私にとって、講習で詳しく知ることができて勉強になりました。
- No. 3-14  
(学) 河川に海からの塩分が入らないようにする工夫や、その仕組みについて理解を深めることができた。特に、船や水上バイクなどが河口堰を通り、海から河川へ、河川から海へ出入りする時の塩分をなるべく入れないようにする工夫が印象的だった。

### 【その他について】

- No. 4-1 所長の話はわかりやすく理解できた。周りの参加者も河口堰の目的、仕組みなどがわかり大変参考になったと言っていた。現地視察の時間が長かったので、講義の時間をもう少し長くしても良いと思った。
- No. 4-2 河口堰ゲートが薄汚れてきたが・・・世界遺産鮎にちなんで漫画チックに卵～踊り鮎～色々な表現で、シール等安価な方法で表現し、子供達に楽しんでもらえるようにしてはいかかがか。
- No. 4-3 カード、アプリ良いですね。No2、No3ーアイデア集めながら続編が出てくるといいですね、また来たくなるような。

No. 4-4 今後は、漁業関係、掘削・補修作業の方、砂利の有効利用など、現場の方の意見が聞けたら良いと思う。

No. 4-5 河床高の変動や、遡上の状況については継続的に観測すべきだと思います。また、流域内で過去に起こった被災現場を案内していただいたのは今後も継続して頂けると良いと思います。

## ● 安八水害等の過去の水害、最近の治水事業

### 【講義について】

No. 5-1 安八水害の体験談は、実際体験されたことの話だったので、話に迫力があつた。こうした体験談をもっと聞きたいと思った。  
木曾三川でおきたことは、大洪水の過去の歴史や最近のことまで自分で調べたことを話され、大変興味深かった。できたらもう少し時間があつた方が良かったと思った。  
最近の治水事業については、話の内容は毎回同じようであつたが、話し方がうまかつたのでよく理解できた。

No. 5-2 当時の消防団（水防団）、区長の方々の行動力、団結力には感心しました。原因として、川原の水溜りの泥を積んで行われた築堤工事、ダンプカー、ショベルカーの土の搬入が遅く間に合わなかつたことなど、現在にも参考になると思った。  
非常時に備えた組織、避難訓練、住民相互の危機管理体制と助け合いなど、現代の方が難しいのではないかと思います。

No. 5-3 ガマの湧出箇所は、対岸上流部に土砂溜まりがある為、川の水や地下水は流れを変えてガマの湧出地帯へとこちら側も堤防下のくぐつた水と合流するため、ガマの湧出と成りうる。講師の方が語られたように、自分達で輪中を守り、地下水も認識して行政まかせではいけないだろうに。

No. 5-4 元安八町消防団の西松さんの体験談は、行政任せではなく堤防決壊等、自然災害への対応について、日頃からの地域一体の取り組みが如何に大切かをまざまざと思い知らされた、心に響くそして説得力のある大変貴重なお話でした。

No. 5-5 どの講義も興味深く、時間がとても短く感じました。安八水害の体験談では、当時対応された方の臨場感あふれる話にぐっと引き込まれ、写真や書物とはまた違つた印象を強く持ちました。体験談を聞くことの大切さを改めて感じました。

No. 5-6 当時の被害の甚大さを改めて認識するとともに、河川整備の重要性を感じた。実際に災害に直面された方の体験談を聞ける機会は貴重だと思う。

No. 5-7 現在までの木曾三川の過去の歴史、何故現在の状況に至つたのかよく解かつた、歴史を知ることが必要。  
体験談については知つてはいたが、現場の様子が良く理解できた。もう少し消防車が流されたことや一人一緒に流されたことを話されると学生にもよかつたのではないか。

- No. 5-8  
(学) 実際に洪水を体験した人の話を聞いたのが良かった。やはり、とても甚大な被害を及ぼしており、自分達でできることを積極的に動くのが重要だと感じた。また、川に関する歴史の話も非常に興味深かった。川がもつ文化、それがもたらすものからアプローチをしていくのがとても新鮮に感じた。最新のデータに基づいた対策など、今も災害を無くすために努力をしているのが良く分かった。
- No. 5-9  
(学) 僕の家は堤防にはさまれたところにあり、川が近くにあっいままでは堤防があるから安全だと思っていたが、堤防があれば確実に安全ではないことも知り、もしもの時に備えておきたいと思った。
- No. 5-10  
(学) 同じ岐阜県で起きた安八町の豪雨災害の存在を初めて知った。西松さんの話から得た情報はたくさんあり、それらを今後の生活に活かしていきたいと思った。資料の中にあつた豪雨災害の写真を見ると、大規模な被害を受けているということが読み取れた。岐阜県には海が無いけど大きな川から小さな川など、たくさんの種類の川がある為、堤防や治水等の重要性について再認識できた。
- No. 5-11  
(学) 昔あつた災害の話を実際に対応した人から話を聞いて、現実味があつて良かったと思います。堤防は切れるものと考えるという言葉が非常に印象的でした。
- No. 5-12  
(学) 木曾三川では昔どのような事が起こり、概要、現在どのように治水しているのか、などが知れて良かった。同じ岐阜であり、近い地域にも関わらずこのような機会がないとふれることができないので、非常に良い経験となりました。
- No. 5-13  
(学) 決壊しない堤防を作ることはできないから、自分の町は自分で守るという気持ちと、危ないと思ったら逃げる事が大切という事が分かりました。大きな洪水が起きた時には、神社やお地蔵様を建てて、洪水が起きないようにしていることも分かりました。僕も自分で守るという気持ちで洪水が起きてても被害を小さくできるようにしたいです。
- No. 5-14  
(学) 最初に聞いた「9. 1 2 豪雨災害」では、その頃の体験や状態を知ることが出来ました。また、堤防決壊の原因は複数考えられ、自然災害の原因究明は難しいと思いました。次に聞いた「木曾三川の出来事」では、幻の木曾三川分流計画や流れ仏の話は聞いたことがなかったので今日聞いて面白かったです。最後の「治水事業について」では、時間が少なかったことと少し難しかったです。でも、プレゼンテーションに災害時の写真があつたので洪水によってどんなことが起こつたのか分かりやすかったです。また、治水の大切さも分かりました。
- No. 5-15  
(学) 興味深いお話を聞くことができ良かったです。当時の状況が想像できるくらい分かりやすかったです。コミュニケーションを日ごろからしっかりとっておくことが大切である事が分かった。これから大人になって仕事についてからもコミュニケーションを大切にして災害を起こしにくくしていきたい。

### 【現地視察について】

No. 6-1  
(学) 昔、破堤したとは思えなかった。今は、すごく立派な堤防になっていたし、決壊したとは想像できなかった。安全にそして安心して生活できるのは、昔起きたことから学んでいることがたくさんあるから今の生活に感謝して生活していきたいと思った。

No. 6-2  
(学) かなり今でも堤防は高いが、この堤防をも超える氾濫が発生する可能性があると考え、他の氾濫を防ぐ、また軽減させる対策も取っていないといけないのではと考えた。自分達がもしこのような河川系、水害の事について携わることが将来あれば、是非今回の経験、体験をいかしていきたいと考えた。案外家から極めて遠い場所ではなかったため、また行きたいと思う。

### 【その他・全般について】

No. 7-1 学生さん達の参加は良かったと思います。今後も若い人々と理解を共有したい。

No. 7-2 今回、学生がたくさん参加していたが、これは良かったと思う。長良川河口堰という名前は知っているけど、詳しいことを知っている学生は少ないと思われた。これからも若い人を参加させたらと思う。

No. 7-3 前半の講義について内容が濃いので、それに対して時間が短いと感じた。

No. 7-4  
(学) 河口堰のゲートの機能についてもっと詳しく知ってみたい。

No. 7-5  
(学) 安八水害破堤箇所を見学する際、見学しつつ昔の写真と比較したかった。